

第15号の現代文勉強法に続き、今回は**古典の勉強法**です。

【古文編】 古文読解に必要な力は、語彙力、文法力、古典常識(背景の理解)力です。

①語彙力をつける

まず、現在使用している『合格古文単語380』を覚えましょう。1年次から定期考査の範囲に入れてきました。あとは積極的に何回も繰り返して覚えるようにし、時々フィードバックして確認しましょう。このテキストは古典の背景や古典常識、文学史(巻末付録p248~)も載っているの、しっかり読み込めば、古典常識力もついてきます。予習の時も辞書代わりとして使うこともできます。模試や問題集などに出てきてわからなかった単語も、ノートなどにまとめて覚えるようにしましょう。

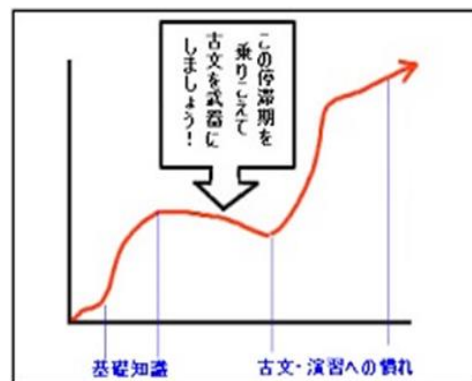
②文法力をつける

文法のテキストを活用して、まずはしっかり覚えることです。特に助動詞、助詞、敬語は完璧にマスターしましょう。「完璧にマスター」というのは、文法事項を覚えて、それが使えるようになるということです。予習の段階で、品詞分解・文法説明をして、それに沿って訳すということを繰り返すことによって、力はついてきているはずです。

『新修古典文法』p141~p172の「紛らわしい語の識別」は読解力向上のキーになりますよ。

③予習・復習で定着を図る

古文の場合は、江戸時代までが範囲なので、授業や講習などで扱った教材や文法事項、単語などが出題されることも多々あります。だからこそ、しっかり予習・復習して自分のものにすることが大切です。模試の問題も同様に、受験後の復習がとても大切になります。余裕があったら、現代語に訳してある本(角川ソフィア文庫「ビギナーズクラシック」シリーズなど)を読み、あらすじだけでも知っている古典常識も自然に身につく、読解力が伸びますよ。有名な作品は漫画化もされているので、読みやすいものを手に取ってみましょう。アウトプットの機会として演習も重要。文系は『入試につながる古文』を自主的に進めましょう。



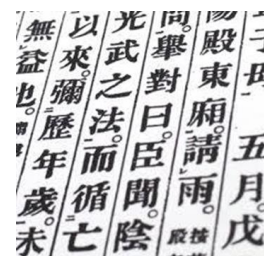
【漢文編】

①基本は「句法」「語彙力」

漢文も基本的には古文と同様、「句法」「語彙力」が鍵を握ります。まずは『漢文必携』を使って、句法・語彙をマスターしてください。句法は、特に否定・受身・使役・反語・疑問について、語順と現代語訳を理解すること。語彙としては、接続詞・副詞(再読文字含む)を徹底的に。『漢文必携』のp89~151の「語彙編」は何回も繰り返して覚えましょう。p152~154の「同訓異字のまとめ」、p187~191の「漢文常識語」も役に立ちます。文系の人は、他に『入試につながる漢文』などの授業で使用した問題集を有効に使って、句法・語彙力をつけるようにしましょう。

②文の構造を意識する

当然ですが、古文・漢文(現代文も)ともに、いくつかの文がつながって文章になっています。ですから、一文一文を意識して読むことが必要です。特に意識すべきは、主語と述語です。主語は省略が多いので、まず述語部分をしっかり押さえ、その述語部分に対する主語を確実にとらえ、「誰がどうした」という文の骨格が理解できれば、筋道が見えてきます。『漢文必携』「基礎編」(特にp22~27の「返読文字」「漢文特有の構造」「漢文の読み方」など)をよく復習すると、白文でも読めるようになります。



③文のつながりをとらえる

文章を読むには、文と文がどのようにつながっているかを捉えることも必要です。着目すべきは「**接続語(代名詞や指示語も含む)**」です。前述の『漢文必携』「語彙編」を活用して覚えましょう。

● ベネッセ『第1回(6月)出願指導研究会』より

18 2023年度第1回出願指導研究会
 早慶上理、MARCH 入試結果の概要



📖 **チャレンジ層にもチャンスが広がる入試が継続**

- ・ 志願者数が前年を下回り、合格者数は前年以上となる大学が多かった
- ・ 結果的に合格率が上昇し、文系学部を中心とした競争緩和が続いている

📖 **上智大の新設「共通テスト方式3教科型」が人気**

- ・ 共通テスト方式は志願者数対前年比117と大きく増加
- ・ 合格の目安となる共通テスト得点率は80%台後半が求められた

📖 **中央大は法学部が茗荷谷キャンパスに移転**

- ・ 志願者数は前年から増加したものの、他の学部と比較するとキャンパス移転の影響は小さかった様子
- ・ 難易も大きく変わらなかったため、従来と同じ基準での指導が可能

19 2023年度第1回出願指導研究会
 早慶上理、MARCH 方式別志願者数・合格者数



大学	一般方式				共テ方式				全体			
	志願者数		合格者数		志願者数		合格者数		志願者数		合格者数	
	'23	前年比	'23	前年比	'23	前年比	'23	前年比	'23	前年比	'23	前年比
早稲田大	74,545	94	10,910	99	16,334	110	4,464	113	90,879	97	15,374	102
慶応大	37,411	99	9,625	96	-	-	-	-	37,411	99	9,625	96
上智大	5,214	94	1,976	110	21,637	124	7,355	133	26,851	117	9,331	127
東京理大	34,547	97	11,661	110	16,151	88	6,291	99	50,698	94	17,952	106
明治大	80,258	105	18,039	98	27,784	106	9,157	111	108,042	105	27,196	102
青山学院大	21,850	89	4,597	95	22,098	95	6,420	108	43,948	92	11,017	102
立教大	34,642	86	9,839	101	23,566	105	6,253	109	58,208	93	16,092	104
中央大	47,577	106	10,862	91	20,209	101	6,443	97	67,786	105	17,305	93
法政大	68,962	87	14,682	99	30,089	104	9,384	116	99,051	91	24,066	105

上智大は共通テスト方式3教科型を新設したことにより、共通テスト方式の志願者数と合格者数が増加した。

● 河合塾『第1回大学入試分析報告会』より

〈正規合格者の割合が増加した主な大学〉

大学	合格者						総合格 前年比 ('23/22)	正規合格 前年比 ('23/22)
	2022			2023				
	総合格	正規	正規合格の割合	総合格	正規	正規合格の割合		
東北学院	6,380	5,349	(84%)	6,181	5,723	(93%)	97%	107%
慶應義塾	9,975	8,471	(85%)	9,625	8,591	(89%)	96%	101%
上智	7,153	4,887	(68%)	9,176	6,787	(74%)	128%	139%
法政	22,986	20,320	(88%)	24,031	22,961	(96%)	105%	113%
立教	15,501	12,697	(82%)	16,092	13,837	(86%)	104%	109%
早稲田	15,021	14,116	(94%)	15,374	14,548	(95%)	102%	103%
同志社	16,412	16,112	(98%)	17,227	17,016	(99%)	105%	106%
関西	20,182	18,950	(94%)	19,286	18,805	(98%)	96%	99%
近畿	39,483	38,360	(97%)	34,356	34,098	(99%)	87%	89%
関西学院	15,829	14,472	(91%)	18,081	17,046	(94%)	114%	118%
甲南	5,713	5,271	(92%)	5,444	5,158	(95%)	95%	98%
福岡	15,291	14,702	(96%)	15,729	15,312	(97%)	103%	104%

これまで、比較的多く追加合格者を出してきた大学

※河合塾調べ (5/23現在)

2016年度以降、入学定員超過に対し私学助成が厳格化された。多くの大学は正規合格者数を絞り込み、追加合格者で入学者数を調整してきた。
 2023年度からは私学助成不交付の基準が収容定員超過率のみとなったため、正規合格者の割合が低かった大学で、正規合格者を増やす動きがみられた。



日東駒専は人数変化の小さい入試が展開された

- 志願者数、合格者数ともに前年並だが、合格率は上昇傾向
- 文系学部は偏差値50前後、理系学部は偏差値40台前半からも合格が見込める



女子大の合格者数が減少

- 近年増加し続けていた合格者数が減少に転じ、他の大学群と異なる動き
- 21年度入試並の難易となった大学もあるが、総じて競争緩和の傾向は継続



東洋大では、改組により2学部が誕生

- 赤羽台キャンパスに福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部が新設
- 前年の学科の志願者数と比較した指数はそれぞれ74、129と動きが異なった